重要なまちづくりの課題の現状評価シート

重要なまちづくりの課題（めざすべき姿）	市立病院の経営が健全である	
施策名	市立病院の健全経営を推進する	No.5

年度	平成27年度
責任部長	病院事業部長
主担当課長	経営企画課長
関係課	市民病院事務局管理課・業務課、木曽川市民病院事務局業務課

1. まちづくり指標の現状

まちづくり指標	指標のめざす方向	現状値	実績値					目標値
		H18	H20	H21	H22	H23	H24	5年後
		H24	H25	H26	H27	H28	H29	10年後
人（医療従事者）、施設、資金が適正に使われていると思う人の割合（%）	↗	45.4	44.6	51.6	53.8	53.9	54.9	52.3
		54.9	54.7	55.0	56.5			59.1
経営改善指標の改善度（%）	↗	—	—	97.4	95.5	92.4	102.2	99.2
		102.2	103.6	103.5	100.5			101.4
経営意識を持って行動している市職員の割合（%）	↗	75.7	75.4	77.2	80.3	83.5	81.1	82.1
		81.1	87.0	89.9	87.8			100.0
診療収支（百万円）	↗	▲ 1,533	▲ 2,149	▲ 1,991	▲ 2,889	▲ 1,853	▲ 152	▲ 1,322
		▲ 152	▲ 31	▲ 208	▲ 1,058			▲ 1,118

2. 外的要因（世論、自然環境、社会動向、民間・NPO活動等）

長引く景気の低迷が続くなか、公立病院を運営する自治体においても厳しい財政状況が続いている。公立病院は地域における基幹的な医療機関として不採算医療をも担っており、その補填を行う自治体の繰り入れにも限界がある。このような状況の中、国を中心に公立病院の抜本的な改革が行われ、民間活力導入による指定管理者制度、独立行政法人化、民間移譲などにより、地域医療を守るための検討が行われている。

3. めざすべき姿に対する現状評価（まちづくり指標や外的要因等からの評価）

現状評価	A 改善傾向	一宮市においても「病院事業改革プラン」を策定し、改革を進めた結果、「診療収支」においては最終目標値を上回っており、「人（医療従事者）、施設、資金が適正に使われていると思う人の割合」、「経営改善指標の改善度」、「経営意識を持って行動している市職員の割合」においてもほぼ順調に推移している。 いずれも目標値に向け推移しており、めざすべき姿に向け改善傾向である。

評価がB・Cの場合

4. 事務事業群に対する評価（行政活動の評価）

長期成果（事業群①）	長期成果（事業群②）	長期成果（事業群③）	長期成果（事業群④）

評価観点	1. 長期成果は重要なまちづくりの課題（めざすべき姿）の一歩手前の状態となっており、モレなくダブリなく設定されているか。 2. 各事業群の事務事業は、長期成果を達成するのに必要十分であるか。
評価	
次年度の改善計画	

＊＊

総合計画推進市民会議による現状評価（※総合計画推進市民会議が発表した「重要なまちづくりの課題（めざすべき姿）の評価書」から転記）

評価	B 停滞	指標3の診療収支が悪化していることが気になるが、経営改善ばかりで市民にとって敷居の高い医療機関にはなってほしくない。